

学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科技工士学校

平成 29 年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時 平成 29 年 5 月 30 日 (木) 10:00~13:00

会場 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校
東京都大田区大森北 1-18-2 TEL:03-3763-2211

参加者 学校関係者評価委員会 委員
【新東京歯科技工士学校】
保護者代表 陸 誠 株式会社コアデンタルラボ横浜
業界関係者 吉澤和之 株式会社オーリアラ 代表
高等学校関係者 阿部隆一 東星学園高等学校 講師
【学校関係者】
中村道雄 学校法人 東京滋慶学園 理事長
福原達郎 新東京歯科技工士学校 学校長
高平 敦 新東京歯科技工士学校 事務局長
今井リカ 新東京歯科技工士学校 教務部長
浜千恵美 新東京歯科技工士学校 学生サービスセンター長

(議事録：浜千恵美)

議題 <会議の概要> (進行：高平)

学校長挨拶 (福原学校長)

- ①平成 28 年自己点検・自己評価概要説明
- ②平成 29 年度重点目標についての報告
- ③意見交換

事務連絡 [評価シート記入、提出について、日当交通費について]

閉会 (中村理事長)

高平)

平成 26 年から始まりました職業実践専門課程ですが、本校は技工士学校から認可をうけ、翌年に衛生士学校が認可されました。年に一度、この学校関係者評価委員会で評価委員の皆さんから評価を頂いております。よろしくお願ひします。

福原)

ご多忙の中、気温が 30 度以上の中、御越し頂きまして有難うございます。本日は、宜しくお願ひ致します。

高平)

11 月から異動して参りました。もともと東京医薬専門学校 言語

聴覚士科の学科長として配属され、そこで、医療の専門ではない私が勉強する中で理学療法、作業療法、関連領域のところで、歯科衛生士という職業を知りました。その後、東京スポーツ・レクリエーション専門学校に配属となり、現在、新東京へ配属となりました。

この学校の魅力、職域の拡大に関心がもてたのも姉妹校での医療分野の勉強会を通じて学んだからです。

では、大項目を中心に説明をさせていただきます。

※このあと、「学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科技工士学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方法」をもとに・・・添付有

高平)

1 教育理念・目的・育成人材像

カリキュラムについては、毎年、改善工夫をしています。業界の動向、高校生の動き等を考慮し組み込んでいます。

2 学校の運営

学校運営のための事業計画を毎年作成しています。また、長期の5年のサイクルでも見ており、今年はちょうど節目の年でもあります。

3 教育活動

衛生士学校では、申請上の人員は足りているのですが、課題が専任の勤続の継続です。歯科衛生士が辞めることなく継続して職務につくことが望ましい。

資質向上の取組は、歯科衛生士訪問歯科診療等です。

歯科技工士学校では、定年を迎える者がいます。

小島)

鈴木が退職、福富も専任から非常勤に変わっています。

組織が大きく変わり、次世代への引き継ぎを実施しています。

教育のところではデジタル化が進みこの近くで開業している木下先生から現場の仕事もやりながら学ぶといことを今年はやります。

スポーツにおいても君塚、清水が中心になって教育の中に入れていくよう進めています。臨床の姿を学生はみながら、学べる環境になっていると良いと考えておりカリキュラムに反映させる予定です。

高平)

学校の取組紹介

1, 歯科新聞に掲載

プロバスケットチーム、アースフレンズと提携
選手に教員が中心となり、印象採得しマウスガードを製作
2, フジサンケイビジネスアイ、ヤフーニュース、
バスケットの雑誌、その他、各メディアで紹介
3, ボブスレーのジャマイカ代表の選手と提携
4, アメリカフットボールの中村選手のマウスガード製作
明るい話題になるよう取組をしています。他にも海外のオリンピック選手との提携、例えば、ネパールのオリンピック選手委員会と話しをしており、マウスガードが必須のテコンドー選手のマウスガードをつくれぬか等話しをしています。
技工関係のものづくり関係に拡げる事により、学生が選手に触れたりすることで自分達の仕事のやりがいを感じられたらいいと考えます。

4 教育成果

小島)

離職防止について課題があると考えます。キャリアセンター長中心にやっていますが、離職というところで学生の勤労ミスマッチが無いようにすれば離職が防止できると考えます。まだ、勤労観というところに課題があります。卒業した後にも生涯就職支援をする体制はできています。

吉澤)

学校側が技工所等とマッチングを検討し離職防止を図られます。業界でも「流れ作業的な現場」で「こんなはずじゃなかった」という声をなくしていきます。技工業界は、技工という職を離れることを防止したい。

受け入れる技工所側もなかなか離職を止めるのは現状難しい。また、50歳でラボに再就職する例がありますが、キャリアと年齢があっていない方も見受けられます。

阿部)

技工業界の方は、希望を持って就職をされ離職してしまった方の離職原因の把握が大切です。現在の就職した人は、積極的に学ぶことを知らないことが多いです。職場や先輩が教える時間があれば、離職せずに済んだという事もあったかも知れません。

吉澤)

技工業界は、過去「背中をみて覚える」等の体制でした。今では入職者の資質の変化にあわせ、少しは勉強しております。新入社員の変化にあわせた体制になりつつあります。そういった中でも向上心高く、上を目指そうとする技工士もいます。現在、技工士として活躍されているのは、そんな方々です。

高平)

同窓会組織のサポートをすることで、学校だけの問題だけではなく業界と一緒に離職防止対策を考えていきたいと考えています。

5 学生支援

高平)

専門学校の退学率は、平均的に6%といわれています。その中で本校は、3.0%です。退学防止は図られていると思います。

休学する学生もおりますが、復学している率も高いので対策はうっています。健康管理については、提携を結んでいる慶生会クリニックが学生の健康管理をしています。また、近隣の病院とも連携をはかっています。

保護者との連携の時間を増えています。学校の授業、学校生活だけではなく、ご家庭での協力も必要になりますので保護者との連携が大切だと考えています。

陸)・・・保護者代表

学校と保護者の連携の体制が整っています。

6 教育環境

高平)

施設設備は最新を意識して整備しています。

歯科衛生士の臨地実習時間が長いのですが実習巡回の教員が現場指導者とコミュニケーションを取っています。

小島)

国際教育、海外研修

アメリカ研修・AITIへハワイでは、足利セラミックなど見学をしています。学生には良い機会となっています。参加を促しています。

阿部)

海外研修は自費ですか？

高等学校では、自費が多いのですが、大学では支援を受けていくことがあります。

高平)

国の補助は、1ヶ月以上の海外研修が対象です。積極的に活動して行きたいと思います。しかし、海外の情勢不安定を考えると今は難しいと思います。

国際教育をかかげている以上、海外研修は今後も継続します。

7 学生の募集と受け入れ

高平)

秋に歯科衛生士科Ⅰ部募集終了、Ⅱ部においても1月には募集を終了しております。歯科技工士科が定員充足に苦戦しており、今年の新入生は全国で927名昨年1000名以上希望者がいたが下回りました。

本校は若干入学希望者が増えていますが技工士の認知が低く、仕事の魅力を伝え業界全体の数を上げていく必要があると考えて活動しています。

8 財務

浜)

財政基盤の安定ですが、毎年事業計画をたてており監事監査、公認会計士をいれてチェック体制は整備されています。また、監事監査から適正な計算書類を作成していると報告を受けています。また、財務情報等も公開されており信頼性の確保には努めています。

9 法令の遵守

高平)

学校の設置基準をみたし、運営や在校生数、定員等は、ホームページ上でも公開しています。

10 社会貢献

小島)

教室貸し等、業界、卒業生等に提供しています。

今後、技工士が活躍する現場でボランティア活動などを検討中です。現在は、技工士会が主催するボランティア活動は、掲示するだけで教育の一環として実施はしていない。

高平)

歯科衛生士科では、大田区歯科医師会と訪問歯科診療に同行し地域貢献のボランティア活動を実施しています。

11 国際交流

小島)

台湾での学生イワシコンテスト（国際歯科技工士学会）へ参加は、学内で学生を選抜して参加しています。

日本参加者から1名だけ佳作となり、ホームの台湾の方が賞を取っていました。

高平)

ジャマイカ選手との交流等、さらに学生が交流できる場を積極的に参加していきたいと思っています。

ここから、業界からのお立場からご意見等頂けましたらと思います。

吉澤)

特別授業で学生に教えています。近年、女性の比率も増えてきたと感じます。学生をみていると家族や周りの影響で入学を決めた方もいるように思います。なぜなら、学習意欲を感じられないからです。そんな温度差のある学生がいる中、同じ教育だけでは難

しいと感じます。私の立場から若い先生方のサポートをさせていただきます。声を掛けてください。

陸)

弊社に入社しても心が折れる新入社員が増えていると感じることがあります。こちらでも職場体制づくりが大変です。今のところ、離職率は少ない。一度辞めた技工士が CAD/CAM 導入にともない再度技工をやってみたい、時短勤務希望 (2,3 時間/1 日)、再就職支援を検討しています。ブランクありの人を集めて就職サポートも可能だと感じます。

阿部)

高校の生徒で歯科技工の学校へも入学した学生がおります。彼が技工士を目指した理由は、「健康の根本は歯だと」いいました。人間にとって健康生活がおくれることは幸せです。そんな人を支える仕事をしていきたいとっておりました。高校の指導も大学志向ではあります。ですが、生徒の将来を考えた時に技術を身に付けておくことも大切だと感じました。学内でのガイダンスに来て頂いて歯科技工の仕事も広めて頂けたらと思います。

文部科学省が対面式で一方的ではないアクティブラーニング授業を小学校、中学校でやっています。その子達が専門学校へ来ると考えると、楽しい授業の展開が必要だと思います。御校でもアクティブラーニング授業を導入していると聞きました。この授業は、教員がアクティブラーニングのことを勉強しないとイケないと考えます。

今井)

アクティブラーニングについては、教員側 (使い手) の手法を間違わないように気を付けます。教員は研修を受講し、授業可能な教員が授業をします。グループワークをすることがこの授業のやり方ではなく、学生の脳の活性化が望まれる手法なのでしっかりと研修を受けてから実施していきます。

また、成果をあげている外部の看護学校等に訪問し、勉強する予定です。授業実施者としては非常に難しい手法なので、しっかり学びシステム化し、水平展開していきたいと考えています。

阿部)

アクティブラーニングは、大学において専任にできても非常勤には難しいと考えられており、90分授業全部の中で実施するのも難しい。他の専門学校に出向いて学ぶなど先駆的だと思います。

高平)

学校関係者評価委員会は年に1回しかございませんが、学校運営、そして、カリキュラムに生かしていきたい。

笑顔をつくる仕事をうちだしている学校ですので、「今日も笑顔であいさつを」と学内に標語も掲げていますが、まず学生に歯にかかわる仕事、歯をまもる、歯をつくる、その先に患者さんの笑

顔があることをわかってもらいやりがいをもって勉強に取り組めるようにしたいし、また、われわれ職員も笑顔をつくる仕事だということを広めていきたいと思います。

中村理事長)

ご多忙の中ありがとうございます。貴重なご意見を頂きました。文部科学省が職業実践専門課程を全国で902校全体の32%に対し認定を出しております。認定を受けるのも難しいといわれています。もちろん、認可されなかったところもあります。業界の先生意見をきいて先端の授業をしているか、情報公開がきちんと可能か、これが難しいと思います。歯科技工士学校は定員の15%、20%の充足率の学校もあり入学者がいなくなると危惧しています。7名だけの学校もございます。そんな中、皆さまにご意見ご教示を頂いて、質の高い学校でありたいと思います。

本日は誠に有難うございました。